

ばい煙発生施設設置~~（使用、変更）~~届出書

年 月 日

（あて先） 富士市長

〒417-8601

フリガナ ふじしながたちょう

住 所 富士市永田町1丁目100番地

届出者

フリガナ ふじさんせいしかぶしきがいしゃ

氏 名 富士山製紙株式会社

〔 氏名又は名称及び住所並びに法人にあつてはその代表者の氏名 〕

代表取締役 ふじたろう
富士太郎

}
}
 大気汚染防止法第6条第1項~~（第7条第1項、第8条第1項）~~
 静岡県生活環境の保全等に関する条例第13条第1項~~（第14条第1項、第15条第1項）~~
 の規定により、

ばい煙発生施設について、次のとおり届け出ます。

| | | | |
|-------------------------|---|---------|-------|
| フリガナ 工場又は 事業場の名称 | ふじさんせいしかぶしきがいしゃ ふじこうじょう 富士山製紙株式会社 富士工場 | ※ 整理番号 | |
| フリガナ 工場又は 事業場の所在地 | ふじしみやじま 〒 417-8601 富士市宮島1260 | ※ 受理年月日 | 年 月 日 |
| ばい煙発生 施設の種類 | 1. ボイラー | ※ 施設番号 | |
| ばい煙発生 施設の構造 | 別紙1のとおり。 | ※ 審査結果 | |
| ばい煙発生施設 の使用の方法 | 別紙2のとおり。 | ※ 備 考 | |
| ばい煙の 処理の方法 | 別紙3のとおり。 | | |

- 備考
- 1 ばい煙発生施設の種類の欄には、大気汚染防止法施行令別表第1及び静岡県生活環境の保全等に関する条例施行規則別表第1に掲げる項番号及び施設の名称を記載すること。
 - 2 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 3 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。
 - 5 次の事項を記載した書類を添付すること。
 - (1) ばい煙量又はばい煙濃度
 - (2) ばい煙の排出の方法
 - (3) ばい煙発生施設及びばい煙処理施設の設置場所
 - (4) ばい煙の発生及びばい煙の処理に係る操業の系統の概要
 - (5) 煙道に排出ガスの測定箇所が設けられている場合には、その場所
 - (6) 緊急連絡用の電話番号その他緊急時における連絡方法

ばい煙発生施設（ボイラー1基）の設置届の記入例です。

ばい煙発生施設設置(使用、変更)届出書

提出部数は2部です。

・不要な部分は抹消線（~~——~~）で抹消。

例) 特定施設の設置の場合

- ・ばい煙発生施設設置~~(使用、変更)~~届出書
- ・大気汚染防止法第6条第1項~~(第7条第1項、第8条第1項)~~

届出者が法人の場合は、その名称と代表者の職名及び氏名を記入。

（工場長等が代理で提出する場合は代表者からの委任状2部を添付して下さい。

また、委任状はその後全ての届出の際に写しが必要となります。）

<工場又は事業場の名称>には、略称等ではなくフルネームを記入。

（法人等の場合は、登記簿に記載されている名称）

<工場又は事業場の所在地>には、当該特定事業場の所在地を記入。

（法人等の場合は、登記簿に記載されている所在地）

<ばい煙発生施設の種類>には、大気汚染防止法施行令別表第1での番号と名称を記入。

ばい煙発生施設の構造

| | | |
|----------------------|--|--------------------------------|
| 工場又は事業場における施設番号 | No.1 ボイラー | |
| 名称及び型式 | 〇〇工業製小型貫流ボイラー 形式 SS-1800 | |
| 設置年月日 | 年 月 日 | 年 月 日 |
| 着手予定年月日 | 年 6月 1日 | 年 月 日 |
| 使用開始予定年月日 | 年 6月 10日 | 年 月 日 |
| 規 模 | 伝熱面積 (m ²) | 7.5 |
| | 燃料の燃焼能力 (重油換算ℓ/h) | 110Nm ³ /h(68.8ℓ/h) |
| | 原料の処理能力 (t/h) | |
| | 火格子面積又は 羽口面断面積 (m ²) | |
| | 変圧器の定格容量 (KVA) | |
| | 触媒に付着する 炭素の燃焼能力 (kg/h) | |
| | 焼却能力 (kg/h) | |
| | 乾燥施設の容量 (m ³) | |
| | 電気容量 (KA) | |
| | ポンプの動力 (KW) | |
| 合成・漂白・濃縮能力 (kg/h) | | |

- 備考
- 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
 - 2 規模の欄には、大気汚染防止法施行令別表第1の中欄に掲げる施設の当該下欄に規定する項目について記載すること。
 - 3 ばい煙発生施設の構造概要図を添付すること。概要図は、主要寸法を記入し、日本産業規格A4の大きさに縮小したものまたは既存図面等を用いること。

別紙1 ばい煙発生施設の構造

変更届の場合は、変更前を中欄に変更後を右欄に対比させて記入して下さい。

(変更部分を蛍光ペン等でマーク)

<施設番号>には、各事業場で決めた通し番号や名称を記入。

<名称及び型式>には、具体的な装置名、メーカー型番号等を記入。

設置届出の場合・・・着手予定年月日及び使用開始予定年月日

使用届出の場合・・・設置年月日

変更届出の場合・・・設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日

それぞれの欄に記入して下さい。

- ・着手予定年月日は、環境保全課の受付日との間に中60日以上あることを確認して下さい。(実施制限期間があるため60日間は工事を行えません)

<規模>には、大気汚染防止法施行令別表第1の中欄の施設の該当する欄にある項目について記入。

例) ボイラーの場合

伝熱面積、燃料の燃焼能力の欄に記入。

廃棄物焼却炉の場合

火格子面積、焼却能力の欄に記入

※ガス燃料の場合の重油換算は、ガス燃料16m³を重油10ℓとして換算

(ガスエンジン等に気体燃料を使用する場合は計算が異なります。)

廃棄物焼却炉で焼却物に水分が含まれている場合、焼却能力記載には炉投入時の重量と絶乾時の重量を記入して下さい。

例) 焼却能力800kg/hで水分70%の場合は

800kg/h(水分70%)、絶乾時240kg/hと記入

ばい煙発生施設の使用の方法

| | | | | | | | |
|-----------------------------|-------------------------------------|---------------------------------|-----------|----------|----------------------|-----------|-----|
| 工場又は事業場における施設番号 | | No.1 ボイラー | | | | | |
| 使用状況 | 1日の使用時間及び月使用日数等 | 0 時～ 24時 24 時間/回 1回/日 28日/月 | | | 時～ 時 時間/回 回/日 日/月 | | |
| | 季節変動 | なし | | | | | |
| 原材料 (ばい煙の発生に影響のあるものに限る。) | 種類 | | | | | | |
| | 使用割合 | | | | | | |
| | 原材料中の成分割合 (%) | いおう分 カドミウム分 | 鉛分 弗素分 | | いおう分 カドミウム分 | 鉛分 弗素分 | |
| | 1日の使用量 | | | | | | |
| 燃料又は電力 | 種類 | LNG(13A) | | | | | |
| | 燃料中の成分割合 (%) | 灰分 0 | いおう分 0 | 窒素分 0 | 灰分 | いおう分 | 窒素分 |
| | 発熱量 | 9950kcal/m ³ | | | | | |
| | 通常の使用量 | 72.0Nm ³ /h(71.6ℓ/h) | | | | | |
| | 混焼割合 | 専焼 | | | | | |
| 排出ガス量 (Nm ³ /h) | 湿り | 最大 1,704 | 通常 1,116 | | 最大 | 通常 | |
| | 乾き | 最大 1,462 | 通常 957 | | 最大 | 通常 | |
| 排出ガス温度 (℃) | | 93 | | | | | |
| 排出ガス中の酸素濃度 (%) | | 5 | | | | | |
| ばい煙の濃度 | ばいじん (g/Nm ³) | 最大 0.03 | 通常 0.01 | | 最大 | 通常 | |
| | いおう酸化物 (容量比ppm) | 最大 0 | 通常 0 | | 最大 | 通常 | |
| | カドミウム及びその化合物 (mg/Nm ³) | 最大 | 通常 | | 最大 | 通常 | |
| | 塩素 (mg/Nm ³) | 最大 | 通常 | | 最大 | 通常 | |
| | 塩化水素 (mg/Nm ³) | 最大 | 通常 | | 最大 | 通常 | |
| | 弗素、弗化水素及び弗化珪素 (mg/Nm ³) | 最大 | 通常 | | 最大 | 通常 | |
| | 鉛及びその化合物 (mg/Nm ³) | 最大 | 通常 | | 最大 | 通常 | |
| | 窒素酸化物 (容量比ppm) | 最大 40 | 通常 25 | | 最大 | 通常 | |
| ばい煙量 | いおう酸化物 (Nm ³ /h) | 最大 0 | 通常 0 | | 最大 | 通常 | |
| 参考事項 | 燃料の比重は空気を1とする。 重油への換算量はカロリー換算値。 | | | | | | |

備考 1 原材料中の成分割合 (%) の欄及び燃料中の成分割合 (%) の欄の記載にあたっては、重量比%又は容量比%の別を明らかにすること。

2 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。

3 ばい煙の濃度は、ばい煙処理施設がある場合は、処理後の濃度とすること。

4 参考事項の欄には、ばい煙の排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出量の変動の状況、窒素酸化物の発生抑制のために採っている方法等を記載するほか、ガスタービン、ディーゼル機関、ガス機関又はガソリン機関については、常用又は非常用（専ら非常時において用いられるものをいう。）の別を明らかにすること。

別紙2 ばい煙発生施設の使用の方法

変更届の場合中欄に変更前、右欄に変更後を対比して記入して下さい。

(変更部分を蛍光ペン等でマーク)

<使用状況>には、特定施設の使用時間、間隔及び1日当たりの使用時間並びにその使用に季節的変動がある場合には、その概要を参考事項の欄に記入して下さい。

<原材料>には、成分割合は重量比又は容量比の別を明記し水分を含む場合、含水率を併記。

複数種類がある場合別紙に、焼却炉等の場合は詳細に参考資料として分析表等を添付して下さい。

<燃料又は電力>には、使用燃料の分析表を添付して下さい。硫黄分等に関しては常に保証できる数値を記入。

例 燃料中の硫黄分が0.06～0.08 とばらつきがある場合0.1%と記入。

ガス燃料の場合 () 内には重油換算量をカロリー換算で記入。

(別紙1での換算方法とは異なります。)

<排出ガス量>には、実酸素濃度で排出口からの実排出ガス量を標準状態で記入して下さい。

また、排風ファン等が設置されている場合、ファン能力に基づくガス量になる場合があるので施設の仕様書又はメーカーに問い合わせして下さい。

<ばい煙の濃度>には、届出施設の規制対象となる物質について必ず記入して下さい。

ボイラー・・・ばいじん、いおう酸化物、窒素酸化物

廃棄物焼却炉・・・ばいじん、いおう酸化物、窒素酸化物、塩化水素

排出基準で用いる標準酸素濃度に換算し、乾きガス中の濃度で記入。排ガスの処理施設がある場合は処理後の濃度を記入。

ばい煙の処理の方法

| | | | | | |
|---------------------------------|--|-----------------------------------|------------------------------|----------------------|--|
| ばい煙処理施設の工場又は事業場における施設番号 | | No. 1 煙突 | | | |
| 処理に係るばい煙発生施設の工場又は事業場における施設番号 | | No. 1 ボイラー | | | |
| ばい煙処理施設の種類、名称及び型式 | | 煙突(SUS製) | | | |
| 設置年月日 | | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | |
| 着手予定年月日 | | 年 6月 1日 | 年 月 日 | 年 月 日 | |
| 使用開始予定年月日 | | 年 6月 10日 | 年 月 日 | 年 月 日 | |
| 処理能力 | 排出ガス量 (Nm ³ /h) | 最大 | 1,704 | | |
| | | 通常 | 1,116 | | |
| | 排出ガス温度 (℃) | 処理前 | | | |
| | | 処理後 | | | |
| | ばいじん (g/Nm ³) | 処理前 | | | |
| | | 処理後 | | | |
| | いおう酸化物 (容量比ppm) | 処理前 | | | |
| | | 処理後 | | | |
| | カドミウム及びその化合物 (mg/Nm ³) | 処理前 | | | |
| | | 処理後 | | | |
| | 塩素 (mg/Nm ³) | 処理前 | | | |
| | | 処理後 | | | |
| | 塩化水素 (mg/Nm ³) | 処理前 | | | |
| | | 処理後 | | | |
| | fluorine, fluorine compounds and fluorine silicates (mg/Nm ³) | 処理前 | | | |
| | | 処理後 | | | |
| | 濃度 | 鉛及びその化合物 (mg/Nm ³) | 処理前 | | |
| | | | 処理後 | | |
| | 窒素酸化物 (容量比ppm) | 処理前 | | | |
| | | 処理後 | | | |
| ばい煙量 | いおう酸化物 (Nm ³ /h) | 最大 | 処理前 | | |
| | | | 処理後 | | |
| | | 通常 | 処理前 | | |
| | | | 処理後 | | |
| 捕集効率(%) | ばいじん | | | | |
| | いおう酸化物 | | | | |
| | カドミウム及びその化合物 | | | | |
| | 塩素 | | | | |
| | 塩化水素 | | | | |
| | fluorine, fluorine compounds and fluorine silicates | | | | |
| | 鉛及びその化合物 | | | | |
| 窒素酸化物 | | | | | |
| 使用状況 | 1日の使用時間及び月使用日数等 | | 0時～ 24時 24時間/回 1回/日 28日/月 | 時～ 時 時間/回 回/日 日/月 | |
| | 季節変動 | | なし | | |
| 排出口の実高さ及び内径H _o ×D(m) | | 高さ5.0×直径0.3 | | | |
| 陣笠の有無 | | なし | | | |
| 補正された排出口の高さH _e (m) | | 6.13 | | | |
| 排出速度(m/s) | | 9.0 | | | |

- 備考
- 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
 - 2 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
 - 3 補正された排出口の高さH_eは、大気汚染防止法施行規則第3条第2項及び静岡県生活環境の保全等に関する条例施行規則別表第2の1の注(3)の算式により算定すること。
 - 4 ばい煙処理施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

別紙3 ばい煙の処理の方法

変更届の場合中欄に変更前、右欄に変更後を対比して記入して下さい。
(変更部分を蛍光ペン等でマーク)

〈ばい煙処理 ～ 施設番号〉には、排ガス処理装置の各事業場で決めた通し番号や名称を記入。

〈処理に係る ～ 施設番号〉には、ばい煙発生施設の名称を記入。

〈ばい煙処理施設の種類〉には、ばい煙を処理する施設を記入。

例) 煙突、電気集じん機、バグフィルター、サイクロン等を記入

〈設置年月日〉は別紙1の解説を参照。

〈処理能力〉では、

- ① ばい煙処理施設が煙突だけの場合、排出ガス量に湿りガス量を記入。
- ② ばい煙処理施設が設置されている場合、排出ガスは湿りガス量を記入し、排出ガス温度は処理装置を通過した後の温度を記入。

ばい煙の濃度、ばい煙量、捕集効率は、ばい煙処理施設により処理される物質に着いて記入。

なお、ばい煙の濃度及びばい煙量の値には捕集効率との間に整合性をもたせ、処理後の数値は別紙2のばい煙の濃度(最大)とばい煙量と同一として下さい。

〈使用状況〉は、別紙2の解説を参照。

〈補正された排出口の高さ〉は、大気汚染防止法施行規則第3条第2項の算式により、算出された値を記入すること。ただし陣笠のある場合は実高さと同じ。

〈補正された排出口の高さ〉〈排出速度〉の記入に関しては、カタログ等の値やメーカーに相談して下さい。

参考事項 (項目選定のものは、該当項目を○で囲むこと。)

| | | | |
|-------------------------------|---------------------------------|---|-----------------------------|
| 資本金 | 100,000 千円 | 従業員数 | 50 人 |
| 主要製品 | トイレットペーパー | 敷地面積 | 3,000 m ² |
| 都市計画法による用途地域 | 工業専用地域 | 建物面積 | 1,000 m ² |
| 担当係 | 工務部 動力課 | 電話番号 | 市外 0545 (51) 0123 |
| フリガナ | ふじ いちろう | フリガナ | ふじ いちろう |
| 担当者 | 富士 一郎 | 公害防止管理者 | 富士 一郎 |
| 付近の見取図 (案内図) | 下記のとおり <u>別添のとおり</u> | メッシュ番号 | |
| 除じん方法 | | | |
| 窒素酸化物対策 | 低NOxバーナー, 蒸気噴霧装置内蔵 | | |
| 排煙脱硫の方法 (具体的に) | | | |
| 他法令による 許可・届出の 状況 (手続) | 事前協議 (静岡県生活環境の 保全等に関する条例) | <input checked="" type="radio"/> 不要・未了・完了 | (年 月 日 提出 年 月 日 許可・受理) |
| | 電気事業法 | <input checked="" type="radio"/> 不要・未了・完了 | (年 月 日 提出 年 月 日 許可・受理) |
| | | 不要・未了・完了 | (年 月 日 提出 年 月 日 許可・受理) |
| | | 不要・未了・完了 | (年 月 日 提出 年 月 日 許可・受理) |
| 環境マネジメントシステム導入の有無 (自社構築を含む) | 無・有 | [審査登録 機関名 : 自社構築 年 月 日 登録・構築] | |
| 2トンボイラー(LNG専焼)の設置届です。 . . . ⑨ | | | |

参 考 事 項

資本金以外は、当該特定事業場を設置する事業所の状況を記入。

<担当部課係><担当者>及び<電話番号>には当該届出に係る担当部課係名及び担当者の氏名（＝届出内容の問い合わせ先）を記入。

<公害防止管理者>には「特定工場における公害防止組織の整備に関する法律」に基づいて公害防止管理者を選任している場合に記入。

<メッシュ番号>は記入しないで下さい。

<除じん方法><窒素酸化物対策><排煙脱硫の方法>には当該特定施設が具体的な対策を行っていれば記入して下さい。

<他法令による～状況>には他法令で届出が必要な場合にはその状況を記入。

㊦ 余白に、当該届出を提出するに至った事由、従来との変更箇所等を記入。

届出書に必要な添付資料

ばい煙発生施設設置（使用、変更）届出書の添付資料及び添付順序

1. ばい煙発生施設設置（使用、変更）届出書
2. 排ガス量及び排ガス濃度の計算書
3. 使用燃料の分析表
4. 処理施設のばい煙処理効率の保証書（メーカーより）
5. 事業場又は工場の案内図
（住宅地図等に事業所の場所を赤色でマークしたもの）
6. ばい煙発生及びばい煙処理施設の設置場所を示す配置図
（敷地図面にばい煙発生施設を赤色でマークしたもの）
7. ばい煙発生及びばい煙の処理に係る操業の系統の概要を示すフローシート
8. ばい煙発生施設の構造概要図及びばい煙処理施設の構造図
9. ばい煙の排出の方法及び煙道の排ガス測定個所を示す図面
10. 委任状（工場長名で届出をする場合）

※添付資料はできるだけ同一図面の中に複数の記載を行うことで必要最低限とすること。

※変更の場合で2～7のうち内容が変わる場合は、変更前を変更後の内容を対比させ、その部分を赤色でマークして下さい。